

2015 (平成 27)

第3回国連防災世界会議(仙台)「仙台防災枠組」採択
「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」公布
アイレック 20周年



2014 (平成 26)

清瀬市男女平等推進条例『子どものためのガイドブック』発行

女性活躍推進法

今年(2015年)8月に「女性の活躍推進法」が成立しました。この法律は男性中心の労働慣行を改め、非正規雇用も含め、すべての働く女性が活躍できることを目標としています。この目標が達成されるように、今後期待したいと思います。(筑紫)

2013 (平成 25)

「DV防止法」改正(同居する交際相手も対応他追加)
「ストーカー規制法」改正

生涯未婚率

50歳までに一度も結婚したことがない「生涯未婚率」は、20年前(1995年)は男性9%、女性5%でしたが、2010年には、男性20%、女性11%となり、今後さらに増加すると予想されています。

一方、20〜30歳代男女の結婚観に関する調査*2では、68%の人が「結婚したほうが良い」と答えています。結婚して家庭を持つのが当たり前だった時代から、現代はさまざまな生き方を選択できるようになりました。一方、政府は「未婚化」が「少子化」の大きな要因のひとつであるとして、少子化対策に積極的に取り組んでいます。(安井)

*1 正確には45〜49歳と50〜54歳未婚率の平均値であり、50歳の未婚率のことをいう。国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2013」
*2 内閣府 平成26年度「結婚・家族形成に関する意識調査」

2012 (平成 24)

「女性の活躍促進による経済活性化」行動計画」策定

援助交際・JKビジネス

1996年に「援助交際」が流行語大賞にノミネート。20年たった今も、大人たちが10代の性(その多くは少女たち)を買う行為は、形を変えながら存在しています。最近問題視されているのは「JKビジネス」*など。こうした子どもの性の商品化は、人身取引の一端であると諸外国からも指摘されています。(福田)

*女子高校生の性を商品化したビジネス

2011 (平成 23)

東日本大震災発生
ジェンダーと平等と女性のエンパワーメントのための国際機関(UNWomen)発足

難民高校生 絶望社会を生き抜く「私たち」のリアル

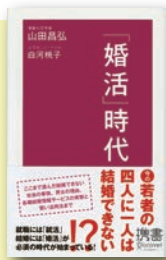
仁藤夢乃/英治出版 2013年



「居場所がない、サビシイ、タスケテ」社会にも大人にも友達にも絶望した著者が、1人の大人との出会いにより、今度は自らが若者と寄り添う決意をします。「自分には無関係だ」と思っても、まず読んで、さらに広めて欲しい本です。(河原)

「婚活」時代

山田昌弘・白河桃子/
ディスカヴァー・トゥエンティワン
2008年



結婚相手を自由に選び、自分の意志で結婚できる時代になりました。「結婚のあり方が多様化した今、自分の望む結婚をするためには就活のように婚活が必要な時代」とのこと。結婚をサポートし、少子化対策にも繋げようとユーモアたっぷりに書かれています。(成田)

20年を振り返り、見直すことで、現状と今後の課題が見えてきました。

中でも闇に包まれていた、女性への暴力がようやく表面化。法律ができることで、DV、ストーカー、セクシュアルハラスメントという言葉が周知されるようになりました。

しかし、時代の変化をとらえた制度ができて、それを使いこなすのは、私たちです。人権を守る上で最優先されるべき支援も「求め、声を上げ、つくりあげる」ところに関わる人がいなければ、足踏み状態になってしまいます。

アイレックは何のためにつくられたのか、当時の方々の熱意を今一度思い巡らせ、一人ひとりが男女平等の社会を少しでも進めるために、一步を踏み出すことが大切なのではないかと思いました。(河原)